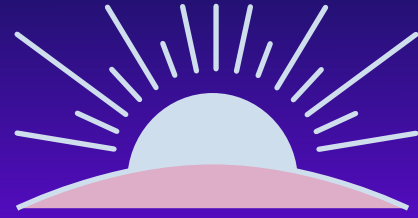


Monterey

初めてのmacOS アップグレード

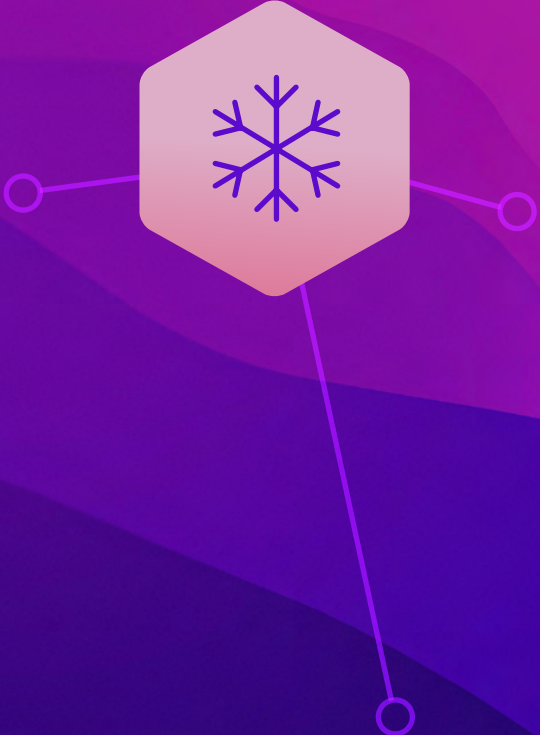




最新バージョンのmacOSを、お使いのMacデバイス、または組織のMacに導入する準備はお済みですか？

IT担当者の皆様は、組織のワークフローを乱すことなく、また、生産性を低下させることなく、macOS Montereyの新機能やシステムをユーザの手元に届けることが求められます。

本書では、適切にOSのアップグレードを進めるためにIT担当者が準備しておくべきことをご紹介します。



他のエコシステムとは異なり、AppleのOSであるmacOS、iPadOS、iOS、tvOSのメジャーバージョンは毎年リリースされます。デバイスが古いソフトウェアのままだと、一貫性、セキュリティ、ユーザエクスペリエンスのすべてが損なわれます。特に、単一の管理ソリューションでさまざまなデバイスやOSプラットフォームをサポートしようとする場合に、その傾向が強くなります。

シンプルなアップグレード手順、そしてOSのアップグレード費用が無料であることも相まって、業界トップレベルのコンシューマーへの導入率を実現しています。エンドユーザは、新しい機能にアクセスできることを楽しみにしていますが、一方で、セキュリティコントロールと正確なシステムインベントリを常に維持する責任があります。

多くのIT企業が知っているように、これは「言うは易し、行うは難し」であり、特にAppleユーザが期待するペースでアップグレードを行うとなるとなおさらです。

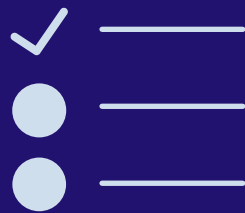
Jamfでは、19年以上にわたってApple社のアップグレードに携わってきた経験から、Apple

社のアップグレードを成功させるためのステップバイステップのガイダンスを提供します。

組織がアップグレードを受け入れ、環境、組織、チームの準備が整ったときにエンドユーザがデバイスをアップデートできるようにすべき理由は、次の4つです。

1. **セキュリティの脆弱性を減らす**
2. **エンドユーザの満足度を高める**
3. **ユーザの生産性向上**
4. **新しいIT管理機能にアクセスする**

このガイドでは、新しいmacOSを徹底的に理解し、アップグレードの準備と実施を慎重に行う方法を説明しています。混乱を最小限に抑え、予定外のダウンタイムをなくす方法を学ぶとともに、組織的な価値を提供し、macOS Montereyのアップグレードをユーザにわかりやすく説明するための知識を得ることができます。



新しいmacOSで注目すべき機能とは？

アップグレードしたmacOSには、新しくて素晴らしい機能がたくさん搭載されています。iPhone、iPad、Mac間のワークフローはこれまでになくシームレスで、さらに進化し続けています。

お時間があれば、macOS Montereyの新機能の全てをご覧になる価値がありますが、本書では、お客様にとって重要と思われる機能をご紹介します。

新しい macOSの 注目機能

ユーザのプライバシー

Appleは、プライバシーを最優先する企業としての比類なき伝統を守り続けています。新しいmacOSのプライバシー機能には、iCloud+の新しいサービスであるプライベートリレーが含まれており、Safariでのブラウジング時に訪問したウェブサイトのIPアドレスと位置情報を隠すことで、ユーザのプライバシーを保護します。

すべてのコンテンツと設定を消去

すべてのコンテンツと設定の消去はmacOS Montereyで利用可能になり、iOS/iPadOSと同様に、現在インストールされているOSのバージョンを維持したまま、すべてのユーザデータとユーザがインストールしたアプリケーションを消去することができます。

管理対象のmacOSソフトウェア・アップデート

MDMの管理者が監視下にあるデバイスのソフトウェアアップデートを遅延させることが可能です。この機能は、現在M1Macで利用可能です。ソフトウェアアップデートの提供を遅らせることで、重要なアプリケーションやインフラストラクチャをチームに配布する前にテストすることができます。これにより、Montereyのようなメジャーリリースを最大90日間延期しても、重要なセキュリティアップデートや

macOSのマイナーバージョンをユーザがインストールできるようにすることができます。

macOS Recovery Lock

macOS Recovery Lockは、パスワードなしにユーザがデバイスのリカバリーモードにアクセスできないようにすることで、Macの最も重要な部分を保護する方法です。

画面共有

FaceTimeでSharePlayによる画面共有が可能になりました。SharePlayは、ユーザがリモートアシスタンスを受けるための機能を拡張し、サポートを新しいレベルに引き上げます。

Appとブック

Appleの新しいAPIは、組織のために、よりパフォーマンスが高く、スケーラブルなAppとブックの体験を提供します。さらに、デベロッパ向けのXcodeは、Mac App StoreとMacアプリケーションのサポートを継続的に拡大する方法を提供します。

これらの変更はすべて、ユーザの生産性を高め、日々の業務に必要な装備を充実させ、より自立した、全体的に優れたワーク・エクスペリエンスを実現するために利用できますが、これらの機能をユーザにタイムリーに提供するための最良の方法と手順は何でしょうか？



βプログラム への参加

1
STEP
↓

AppleSeed for ITが提供する次期リリースのプレビューを利用すれば、新しいOSのバージョンや機能が組織にどのような影響を与えるかをいち早く知ることができます。

AppleはOSを定期的にアップデートしており、ベータプログラムに参加することで、OSのリリースに先立って数か月間のテストを行うことができます。Appleは、macOS、iPadOS、iOS、tvOSのベータプログラムを無料で提供するAppleSeed for ITを提供しています。参加するには、Apple Business Manager、またはApple School Managerにお使いの管理対象Apple IDでサインアップしてください。

ベータプログラムに参加する理由は？

1 これらのオペレーティングシステムのベータサイクルは、通常、複数のフェーズで行われます。早期に参加してAppleにフィードバックを提出することで、お客様に最も影響を与える機能や問題が、アップデートがリリースされる前に対処される可能性が高まります。また、Appleにフィードバックを提出する際には、フィードバックアシスタントアプリケーションを使って、問題の状況や解決の可能性のあるOSのバージョンを確認することができます。

2 ベータ版に参加すると、新機能や互換性をいち早く試すことができるだけでなく、エンドユーザの体験にどのような影響があるのかをより深く理解することができます。新たに追加された設定、移動した機能、ラベルの変更などを知ることで、トレーニング教材やオンボーディングキットなどの必要な更新情報を得ることができます。このようにして、エンドユーザエクスペリエンスの変化に備えることで、よりユーザを中心としたサポートモデルやコミュニケーションプランを実行することができます。

3 最後に、お客様の環境で現在提供されているソフトウェアを継続して使用するためには、新しいOSの設定や機能に加えて、アプリケーション、インフラ、管理の互換性テストが重要になります。Appleのベータ版を実行して、導入したアプリケーションに問題がないかをテストすることをお勧めします。Appleは、ベータ版のOSが多数のお客様の環境でどのように作用するかを検証するために、組織向けに様々なテストプランを用意しています。

技術スタック 全体のテスト



STEP
2

最良の結果を得るため、また、アップグレードがエンドユーザのワークフローに予期せぬ影響を与えないようにするために、以下を含む技術スタック全体をテストすることをお勧めします。

1 インフラストラクチャ

VPNやプリンタ・ドライバのテストなど、アプリケーション・スタック以外のものを含む全てを新しいOSでは必ずテストする必要があります。

2 アプリケーション

ウェブベースと非ウェブベースの両方のアプリケーションが対象です。すべてのアプリケーションをテストする時間がない場合は、アプリケーションベンダーの互換性に関する声明に

基づいて優先順位を決めてください。

macOS Monterey には、従来のカーネル拡張機能の変更が含まれています。ベンダーは、Appleの最新のSystem Extensionsフレームワークをサポートしているかどうかを確認する必要があります。

3 マネジメント

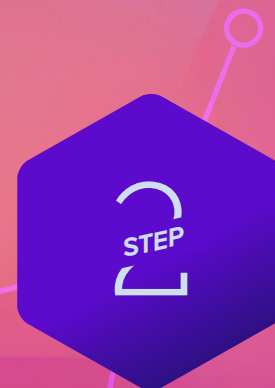
デバイスの導入および管理ソリューション (MDM、EMM、UEMなど) を含みます。デバイス管理ソリューションが、新しい制限、管理機能、および機能をテストする機能を提供しているかどうかを確認してください。

あなたの組織では、多くのチームが、さまざまなアプリを使用し、多種多様な方法でデバイスを使用しているかもしれません。そのような環境でアプリのテストを成功させるには、優先順位をつけることが重要です。

アプリを重要度の高いもの、低いもの、中程度のものにランク付けする方法もあれば、それぞれのアプリの使用状況を見て、それに応じて優先順位を決める方法もあります。また、各アプリの使用状況を見て、それに応じて優先

順位を決めることもできます。このようにして優先順位を決めた後、各部門（財務、マーケティング、営業など）から代表者を募ってテストを行うことで、日常的な使用状況を把握し、できるだけスムーズに進めることができます。

テストの前の優先順位付



Macのアップグレードにはいくつかの方法があります。しかし、アップグレードを進めることを決めたら、Mac上の既存のデータをどうするかを決めなければなりません。それは共有のデータなのか？特定のユーザに割り当てられているのか？肝心なのは、データをそのままにしておきたいかどうか、ということです。

macOSの最も一般的なアップグレード方法は、インプレース・アップグレードです。インプレース・アップグレードでは、ユーザデータをそのままにしてOSをインストールします。

データを保持したまま新しいmacOSをユーザに展開する場合には、3つの方法があります。

特に、1と3の方法では、macOS内のキャッシングサービスを利用することで、ネットワークトラフィックを削減することができます。以下のオプションはすべて、今後の展開計画に合わせて検討することができます。

1 監視対象のMac、またはApple Business ManagerやApple School Manager経由で登録されたMacは、MDMコマンドを送信してアップデートをダウンロード・インストールすることでアップグレードできます。このコマンドをMass Actionとして実行すると、IT管理者はmacOS Montereyなどの主要なOSバージョンのアップデートを含めるように選択できます。Apple製シリコンを搭載したコンピューターの場合、Jamf ProでBootstrap Token

を仲介すると、アップデートを承認するためのユーザの操作は必要ありません。

2 “Install macOS Monterey.app”をAppleから直接ダウンロードして、お好みの配布ポイントからデプロイします。デバイスにデプロイされた後は、ポリシーをトリガーにして自動的に実行するか、ユーザがJamf Self Serviceから自分でインストールを開始することができます。これらの方法では、アップデートがすでにダウンロードされているので、エンドユーザがインストールする時間を短縮できます。

3 Mac App Storeから「Install macOS Monterey.app」をダウンロードして実行するようにユーザに促すか、システム環境設定からダウンロードしてインストールできるようにすることもできます。

macOS Montereyへのアップグレード



既存のMacのデータはすべて消去する場合には、アップグレードを完了させるために2つの方法を利用できます。

*macOSのアップグレードにはインターネットへの接続が必要です。

macOSのインストールとハードドライブの消去を同時に行う--eraseinstallオプションというコマンドがあります。実行するには、macOS Montereyのインストーラーをダウンロードして、MDMソリューション経由でアップロードするだけです。ポリシーを使ってmacOS Montereyをデプロイします。

1) インストーラーをクライアントのMacにステージング

2) --eraseinstallフラグを付けてstartosinstallを実行します。自動的にインストールを開始するか、Jamfを使用している場合は、Jamf Self Serviceに配置します。

デバイスがMontereyを実行していると、MDMコマンドの「WipeDevice」で、Apple siliconを搭載したT2 Macやコンピュータに対して「Erase All Content and Settings」のワークフローを実行できるようになります。

Apple製シリコンを使用する際には以下の点に注意してください。

- startosinstall および macOS インストーラーアプリの使用には、ユーザ認証が必要になります
- Jamf Pro Mass Action MDMコマンドで、“Include major updates, if available”オプションを選択すること
- Jamf ProにBootstrap Tokenを預ける場合、ユーザの操作は必要ありません。macOSがソフトウェアアップデートを承認するためにトークンを要求します

macOS Montereyへのアップグレード



最後に、このプロセスを通して意識すべきことは、エンドユーザに、彼らのデバイスに何が起こるのか、彼らに依頼したいことは何なのかを、率直に、透明性を持って、頻繁に伝えることです。

いつアップグレードできるのか、そのプロセスはどうなるのか、一定期間アップグレードできない理由はなにか、など、エンドユーザを含めて双方向のコミュニケーションをとることで、よりスムーズなプロセスが実現します。コミュニケーションをとることで、ヘルプデスクのチケットや電話の数を減らすことができます。さらに、これらの要求や電話を先取りすることで、エンドユーザに満足してもらい、いつか支援が必要になったときにプロセスに参加してもらえるようになります。

エンドユーザがアップグレードのタイミングを逃さないためのステップ

1 すべてのエンドユーザが、アップグレードにかかる時間を知っているわけではありません。平均的なアップグレード時間をユーザに知らせ、アップグレードに最適な時間帯を教えてください。

2 エンドユーザには、アップデートの前にデバイスのバックアップを取ることを推奨します。これは、ローカライズされたバックアップとiCloudのバックアップに適用されます。

3 エンドユーザに対して、決定した開始日から30日以内にアップデートすることを求めるポリシーを導入するか、またはエンドユーザのためにアップデートすることを知らせる。PCI DSS準拠では30日が必要です。

電子メール、会社のイントラネット、またはJamfを使用している場合はJamf Self Serviceアプリカタログを使用して、OSのアップグレードの前にユーザに十分な警告と推奨事項を伝えましょう。

エンドユーザとのコミュニケーション





アップグレードにより、デバイスを強化、そして快適に

macOS Montereyは、あなたのMacをあなたがAppleに期待する、柔軟にカスタマイズされたマシンにするための改善とワークフローの強化をもたらします。

シームレスなアップグレードプロセスを提供することは、セキュリティ対策、正確なシステムインベントリの維持、ダウンタイムの排除を確実にするだけでなく、IT部門をヒーローのように見せることができます。Appleのために構築されたApple Enterprise ManagementソリューションであるJamfは2012年から、Apple OSバージョンアップに即日対応してきた実績があり、最新のAppleOSを活用するために必要な機能を備えています。

Jamfは、エンドユーザーに悪影響を与えることなく、またIT部門がデバイスに触れることなく、デバイスの導入、管理、セキュリティ、アップグレードなど、企業におけるAppleのライフサイクル全体を自動化する、規模の大きな唯一のApple Enterprise Managementソリューションです。

[トライアルに申し込む](#)

トライアルにお申し込みいただくか、リセラーにお問い合わせいただき、最高のAppleEnterprise管理をご体験ください